

祝 創立70周年
令和2年度2月号

咲かせよう大正の花

つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



人と関わる力

園長 北村 恵

早いもので、年が明けてすでに1か月。3学期の登園日数を数えると残り31日です。今年度は1学期の保育日数が少なかったせいか、とりわけ1年が早く感じられます。

今、幼稚園では、生活発表会に向けて各学級での取り組みが始まっています。例年と違い、日にちや時間を変えて学年ごとの発表になりますので、他学年の姿を見ていただくことや、3学年合同の歌をお見せできないことが残念ですが、子供たち同士はリハーサルの日を利用してお互いの出し物を見合う予定です。

実は、子供たちにとっては「見合う」ということが大切な学習の機会となります。3、4歳児は上の学年の歌や劇、合奏を見ることで遊びのヒントをもらったり、自分たちもやってみようという意欲をもったり、「すごいなあ」という、あこがれの気持ちをもったりします。5歳児にとっては、下の学年に見せることで「自分たちはこんなこともできるようになったんだ」という自信になったり、3、4歳児の姿を見て自分たちの成長を感じたり、頑張っている姿に応援する気持ちをもったりする機会になります。だからこそ、学年を超えた関わりがとても大切なのです。

先日、保護者の皆様にご協力いただいた園評価アンケートの結果や、子供たちの育ち、課題などを出し合い、来年度の園運営について話し合っている時に、先生たちが共通して子供たちのコミュニケーション能力に課題を感じていることが分かりました。「友達の気持ちが分からず、自分の気持ちばかりを優先してしまう」「自分の気持ちを言葉で伝えられない」「嫌なことがあっても言わずに我慢してしまう」「トラブルを避けようとしている」などの気になる姿が出されました。

6月から保育が始まったことや、学年を超えた交流が例年より少なかったこと、地域の方、小学生との関わりがまったくもてなかったことなど、例年とは違い、様々な人との関わりの経験が今年度は少なくなっています。併せて、マスクでお互いの表情が読みづらい、大きな声を出してはいけない雰囲気がある、距離を取ることを意識して生活していることなどにも、原因があるのかもしれませんが、このことも、きちんと検証していく必要性を感じています。

まずは、今の子供たちの課題を捉えていくことで、今後の保育の手立てが見えてきます。残り31日間、進級・就学を見据えて「人との関わり」に重点をあてて援助することで、足りない経験を補っていきたいと考えています。